

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価			
データ 分析 表	データ表		データグラフ
	内容	項目数	
	「乳児保育」	15	
	「3歳未満児保育」	26	
	「3歳以上児保育」	0	
	「教育保育の配慮事項」	15	
	「健康・安全」	29	
	「子育ての支援」	18	
	「職員の資質向上」	9	
計	112		
平均	4.20		
総合 評価	<p>個々の関わりを大切にしながら、子ども一人ひとりと丁寧に関わることができていたが、中には職員に余裕が無く、口調がきつくなってしまったり、慌ただしい時に流れ作業で子どもと関わってしまう職員もいた。その都度声を掛けることができず、養護の研修の際に振り返る形でしか養護の大切さを伝えることが出来ていなかったため、今年度はその都度関わり方を丁寧に伝え職員全員が同じ対応で関わるようにしていきたいと思っております。</p>		

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	信条の強化月間をリーダー会議で定期的に発信することで、信条の理解を深めていく（年12回）
35. こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	日々の振り返りを大切に、エリアやアトリエを素敵に保てるよう、常に環境を整え、より質の高い自己決定を保障していく（園全体の環境会議年12回）
35. こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	非常勤職員も巻き込みブラインド型ロールプレイ訓練を行い、非常食を使用した訓練を実施する（年1回）